

作業手順フロー

1 対象地のデータ受領

お客様から調査対象地の資料をいただきます

受領データの種別	内容（例）
対象地所有者名	ABCD 製鋼株式会社
地積	10,000m ²
住所または地番もしくは地図	●県●市●町 1 - 1

2 浄化費用の算出

弊社のデータベースから厳密に設定されたパラメーターを用いて
浄化費用を算出します

汚染平面範囲

① 3年代の住宅地図を取得

- 1) 水質汚濁防止法の施行時期前後
- 2) 土壌環境基準の告示時期
- 3) 現在

② 土地利用の確認

- 1) 住宅地図記載名から土地利用者を確認する
ホームページ / 全国工場便覧 / 帝国データバンク

③ 推定される有害物質の抽出

確認される業種から、過去～現在の操業において、
使用される有害物質を推定する

汚染深度

④ 地下水解析（数値地図・地形図）

- 1) 対象地の標高を確認する
- 2) 対象地周辺の河川・湖沼の標高を確認する
- 3) 推定される水位勾配から、対象地の水位を推定する

⑤ 地質解析（柱状図）

- 1) 対象地周辺における柱状図データを検索する
- 2) 難透水層の位置を確認する

浄化単価

⑥ 浄化単価の更新

弊社実績や（社）土壌環境センター等から得られる
データより、浄化単価の算出および見直しを実施
最新単価の更新

⑦ システムにデータを入力

3年代における有害物質の汚染のおそれ

地下水位・難透水層の位置

最新単価の更新

⑧ データ解析

汚染平面範囲

統計データから汚染平面範囲を算出

汚染深度

地下水位、難透水層、データベース（統計データ）
より汚染深度範囲を算出

浄化単価

最新データベースより単価を算出

$$\text{汚染土壌浄化推定額} = \text{汚染平面範囲} \times \text{汚染深度} \times \text{浄化単価}$$

3 算出結果のご報告

当算出結果を利用する関係者、すなわち、一般の方が読むことを想定して、
分かりやすい文章で記載しております。

期間 **5日**で納品

金額 **コストは1件 数万円**

※物件件数によります